

平成 2 2 年度定例第 4 回理事会議事録メモ

期 日 平成 2 3 年 3 月 2 6 日(土) 9 : 3 0 ~

場 所 群馬県総合スポーツセンター本館第1研修室

東日本大震災の被災者の方へ黙祷

1 開 会

2 あいさつ 中曽根会長

今年度の各大会も皆様のおかげで無事終了した。お世話になりました。群馬県選手の活躍もあったが、グランドプランにより更なる前進をめざして行きたい。

日本陸連の組織改正により、副会長から新評議員会の議長となった。群馬のためにもさらに頑張ります。

3 出席確認 理事総数 5 7 名 出席 4 6 名、委任 7 名 計 5 3 名

4 報告事項

(1) 日本陸連・関東陸協関係

日本陸連関係 (武藤理事長)

震災の関係で15日が31日に延期になった。議題が来ているので群馬県関係を紹介する。ダイハツの中里選手が強化指定B (マラソン)、ミズノの菅井選手が強化指定C (走幅跳) になった。詳細は、6月の理事会で報告する。

関東陸協 (村田理事)

関東陸協の23年度の行事予定は、関東選手権は8月19日から21日栃木県宇都宮、関東高校は6月17日から20日千葉県、関東中学は8月8日から9日山梨県でそれぞれ行われる。

日本陸連関係の表彰の名称が変更になった。

(2) 平成 2 2 年度各委員会度事業報告 (年鑑により説明)

総務委員会

年鑑が完成した。各会員への配布をお願いしたい。

登録については、Web登録に移行するのでアカウントとパスワードを配布した。インターネット環境がない場合には、相談にのることができる。

埼玉陸協が法人化したように、群馬陸協も法人化する方向ですすんでいくのでご協力おねがいします。

財務委員会

NY駅伝の会計報告が終了した。お世話になりました。

競技運営委員会

全国競技運営責任者会議で、来年度のルール改正の話題がでたので、一部をまとめたので新年度の大会で徹底してほしい。(資料参照)

23年度の群大記録会、上武大記録会は震災の影響で中止。春季については、交通手

段等を考慮して31日に決定する。Web等でお知らせする。その他の大会も計画停電等の関係でその都度考える。

強化委員会

1月4日から太田で投擲を中心に合宿を行った。3月は国際交流事業を行った。本日26日から30日まで山口で国体現地合宿を行う。成年は国体の点数が望めるので、少年の強化を推進していきたい。

普及委員会（中山委員長）

全国小学生クロカン大会は、震災により中止になった。榛東北小学校で夢のキャラバン隊の事業が行われた。23年度から全国交流大会は横浜で行うこととなった。全国小学生クロカン大会の監督については、有資格者でなければならないという事項に対し各県から異議が出た。大会は24年度から12月の第2週で、県選抜になるかもしれない指導者資格は各クラブにおいても引き続き取得者の増をお願いしたい。

不正スタートは小学生の場合は、2回そのまま行う。ソフトボール投げは、ヴォータックスフットボール(NISHI製のゴム製で楕円のボールに尾翼のついたような物)投へ移行する方向である。

その他

(川崎副会長) 法人の形態についてはどのようなものを考えているか。

(事務局) NPO、社団等があるが、日本陸連としては、一般財団を考えているようで、群馬陸協も現在はそれに従う方向である。300万の基金は、200万を日本陸連、100万を群馬陸協が用意することとなる。

(3) 中体連・高体連

(永井委員長)

明日27日の中体連混成記録会は中止とした。

中体連委員長を永井から桑原へ移った。24年度には関東中学大会が来るので協力をおねがいします。

(村田委員長)

高校優秀選手賞は樹徳高校の堤選手、高校優秀指導者賞は前橋高校の武藤先生が受賞する。インターハイでのイングリッシュコールドは2年間見送ることとなった。

県高校駅伝のコースは、伊勢崎市、伊勢崎陸協の協力で現状のまま行えることとなった。

24年度は関東高校がくるので中体連ともどもお世話になります。

(4) その他

(海野副会長) 県体協の動きについて報告する。

ジュニア層国体得点率が50%から30%を割りそうになっている。そこでジュニア育成プログラム(スーパーキッズプロジェクト)を行うこととなり、実施競技として、スキー、水泳(水球)、ソフトボール、陸上(棒高跳)となった。1競技20名程度(4, 5年生)を育成することとなった。財源は県の選手強化費の中から支出する。

県体協と県事業団が共通事務局として活動しているが、公益法人改革により、両財団を9月30日に合併して、(事業団を存続させる格好であるが)群馬スポーツ協会とし

て発足する。役員も改正になる。

質疑応答

(平方副会長) 日本陸連の表彰について2年間検討してきて、個人名をなくした形となった。表彰式の会場も変わっている。高校、中学の選手は地元で表彰をして、周知してほしい。秩父宮賞は残る。今回の功労賞に群馬県で初めて、中曽根会長が受賞することになったここで紹介する。

(川崎副会長) NY駅伝の駐車場について、裁判所に入れなかった。駐車場の体制はどのようになっているのか。

(武藤理事長) 駐車場は、県の総務課の割り当てにより、群馬陸協の本部審判員等は、駐車券対応で行っている。近隣駐車場の割り当て状況など確認して要望したい。

5 協議事項
とくになし。

6 閉 会